

## 単独歯インプラントへの即時荷重 vs 待時荷重



### Clinical and radiographic outcome following immediate loading and delayed loading of single-tooth implants: Randomized clinical trial.

即時荷重および待時荷重により埋入された単独歯インプラントの臨床学的および放射線学的結果：無作為化臨床試験

Gjelvold B, Kisch J, Chrcanovic BR, Albrektsson T, Wennerberg A.  
*Clin Implant Dent Relat Res.* 2017 Feb 19. [Epub ahead of print].

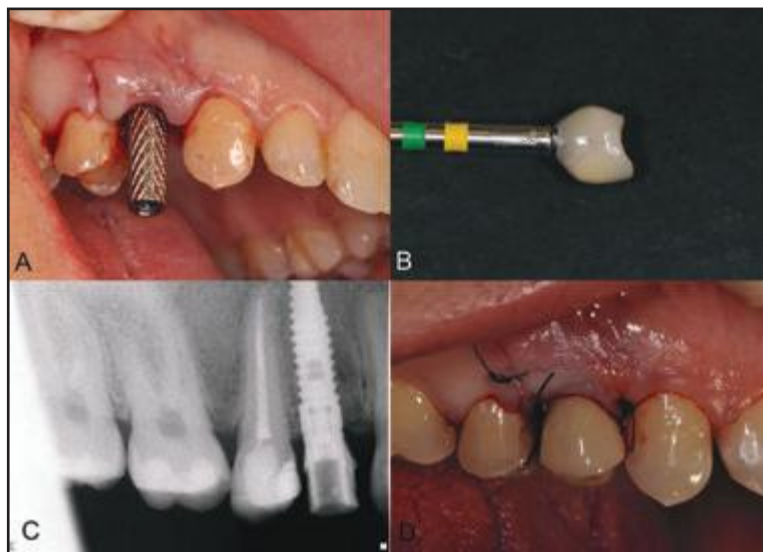


図1：テンポラリークラウン IL A. チタンテンポラリーアバットメント  
B. 研磨後のテンポラリークラウン C. テンポラリークラウンのX線写真  
D. テンポラリークラウン装着と粘膜縫合

### 背景

一般的に単独歯インプラントの即時荷重は信頼できる手法とされている。

### 目的

本研究である前向き無作為化臨床試験の目的は、単独歯インプラント埋入に対して即時荷重(IL)または待時荷重(DL)を行い、フォローアップ1年後に治療結果全体を比較することである。

### 材料と方法

上顎に1歯欠損がある患者(15-25)を無作為にILまたはDLに振り分け、治癒した欠損部位へのインプラントの埋入、即時荷重あるいは待時荷重、スクリュー固定による暫間修復および最終の単冠クラウン装着をプロトコールとした。インプラントの残存率、辺縁骨レベル、軟組織の変化、歯間乳頭指数、ピンクおよびホワイト審美スコア(PESおよびWES)、患者判断による審美性、口腔にかかわるQOL評価質問票(OHIP-14)を用いて評価した。

### 結果

インプラントの残存率は、即時100%、待時96%であった。

歯間乳頭スコアは、テンポラリークラウンおよび最終クラウン装着時に、ILグループにおいて有意に低かった。PES、WESおよびOHIP-14においては、12ヶ月後に有意差が見られた。

### 結論

今回の前向き無作為研究では、上顎の単独歯インプラントは、即時荷重または待時荷重のいずれも12ヶ月後に良好な結果を示した。